

不適切問題の取扱いについて（第94回）

① 1日目 午前 問42

問42 アミノ酸の先天性代謝異常に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a フェニルケトン尿症は、フェニルアラニンヒドロキシラーゼの異常が原因である。
- b アルカプトン尿症は、ヒスチダーゼの異常が原因である。
- c メープルシロップ尿症(カエデ糖尿症)は、分枝アミノ酸デカルボキシラーゼの異常が原因である。
- d 色素欠乏症(白子症・白皮症)は、チロシナーゼの異常が原因である。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	誤	誤	正
4	正	誤	正	正
5	正	正	誤	誤

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理由

正解となる選択肢がないため。

② 2日目 午前 問145

問145 高脂血症(脂質異常症)治療薬に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a シンバスタチンは、肝細胞中のコレステロールを減少させる結果、低比重リポタンパク質(LDL)受容体数を増加させる。
- b ベザフィブラートは、LDL受容体の活性化により、肝臓における脂質の取り込みと分解を促進する。
- c ニコチン酸は、リポタンパク質リパーゼの活性を高めてトリグリセリドを減少させる。
- d イコサペント酸エチルは、血中コレステロールを減少させるが、トリグリセリド減少作用はない。

1 (a、b)

2 (a、c)

3 (a、d)

4 (b、c)

5 (b、d)

6 (c、d)

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理由

正しいものの組合せとなる選択肢が複数あるため。

③ 2日目 午後 問208

問208 ワルファリンカリウムを用いた治療法に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 効果判定には、プロトロンビン時間(PT)の国際正規化比(INR)が用いられる。
- b 胎盤を通過しないため、妊婦にも使用できる。
- c 抗凝固作用は、ビタミンKにより阻害される。
- d 腎排泄型であるため、腎尿細管分泌部位におけるプロベネシドとの相互作用により、全身クリアランスが減少することがある。
- e 内因性凝固因子であるプロテインCの合成も阻害する。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	誤	誤	正
3	正	正	誤	正	誤
4	誤	誤	正	正	正
5	誤	誤	正	正	誤
6	正	正	正	誤	正

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理由

正解となる選択肢がないため。